

自衛官募集相談員が防衛大学校を見学し見識を広める

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、11月30日（水）、自衛官募集相談員静岡県中部連絡会の「横須賀研修」を支援した。

募集相談員とは、地本長から自衛官志望者に関する情報の提供や募集のための広報活動に援助・協力を委嘱された一般の方々で、公立中学校に1名基準で募集に協力している。

本研修は、同連絡会が自衛隊に関する知識の向上と更なる募集協力意欲の高揚を目的として毎年実施しているもので、今回は神奈川県横須賀市にある防衛大学校とその近傍にある猿島を訪れた。

当日は、望月富士夫会長をはじめ29名の会員が参加し、将来の幹部自衛官を目指す若者を育成する防衛大学校等を見学した。

まず防衛大学校の本部庁舎内において、学生の訓練の様子等を写したパネル展示や、学生綱領である「廉恥・真勇・礼節」の文字を刻んだ石盤、すらりと並んだ在籍する各国留学生の母国の国旗について担当者から説明を受けた。その後、卒業式での帽子投げで有名な記念講堂、防衛大学校の歴史がひと目でわかる資料館、学生が生活する学生舎の外観等を回り、募集相談員として防大の魅力が伝えられるよう見識を深めた。

また、午後は東京湾にある「猿島」に船で移動し、明治時代に東京湾要塞のひとつとして建設された猿島砲台跡等を見学した。

参加者は「充実した施設や恵まれた環境で勉強できる防衛大学校の魅力が十分に理解できたので、今回得たものを募集相談員として周囲に発信していきたい」と感想を述べた。

静岡地本は、今後も募集相談員と緊密に連携を図り、募集基盤の拡充と熱意ある志望者の確保に努めていく。



護衛艦「やまぎり」の体験航海

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は12月2日（金）に行われた護衛艦「やまぎり」の体験航海に、県内の自衛官志望者や協力者等6名を引率し参加した。

この体験航海は、海上自衛隊横須賀基地から「やまぎり」の整備入場先である三菱重工横浜工場への航行を利用して行われた。

乗艦すると、出航に向けて隊員がそれぞれ与えられた役割を無駄なく、手際よくこなす姿が見られるとともに、航行中は横須賀地方総監部の隊員から艦内の説明を受け食堂や艦長室といった艦内の設備や各種の装備品を見学した。艦艇で勤務する海上自衛官のやるべき仕事を間近で見た参加者たちは、皆興味深い様子であった。

最後に、艦を降りる際には護衛艦初の女性艦長である大谷2等海佐が自ら見送りを実施する姿等を見て、自衛隊における女性の現場進出にも理解を深めている様子であった。

参加者からは「出航の際放送される号令に基づき隊員がきびきびと行動しているのを見て、自分も身が引き締まる思いだった」「将来は海上自衛官として艦艇勤務をしたいと考えているので、将来の参考になる良い経験が出来た」等の感想を聞くことができた。

静岡地本は、今後もこのような現場に直接触れる機会を積極的に活用し、自衛隊の魅力をより深く知ってもらうとともに、自衛官を目指す若者の支援と募集基盤の拡充に努めていく。

